



不登校の児童生徒の保護者のみなさんにお便りします

やまびこ



兵庫県立 **但馬やまびこの郷**

<http://www.t-yamabiko.asago.hyogo.jp/>

E-Mail Tajimayamabiko@pref.hyogo.lg.jp

もっと教えて！但馬やまびこの郷

但馬やまびこの郷にみなさんから寄せられた、よくある質問をまとめてみました。

Q

但馬やまびこの郷ってどんなところ？

不登校やその傾向にある小・中学生を支援する施設で、兵庫県朝来市山東町にあります。自然に囲まれた施設には、体育館やグラウンドも備えており、宿泊体験活動を通して子どもの心と体を元気にし、学校復帰をめざします。4泊5日を基本としていますが、初めて利用される場合は、緊張や不安の高い子どももいますので、1日（あるいは半日）の見学や体験も受け付けています。



Q

具体的にはどんなことをするの？

料理（うどんやハンバーグなど）・スポーツ・製作活動（プラ板や七宝焼）など様々なプログラムを用意しています。



仲間と一つのことをがんばる体験、自分の力でやりきる体験をします。

Q

なかなか遠いので足を運べないのですが…

私たちスタッフが、県内各地に出かけていく「地域やまびこ教室」を開催しています。利用していただければ、やまびこの郷を知っていただくよい機会になると思います。

Q

申し込みはどうすればいいの？

利用の前に提出していただく書類があります。学校を通じてお申し込みいただくことになりますが、まずは、事前に電話で当所にご連絡ください。

Q

子どもたちは本当に変わるの？

体験活動を通して、子どもたちはスタッフも驚くほど変わっていきます。集団の中で、お互い支え合いながら生活することで、本来持っているエネルギーが引き出されていくのです。そのような小さな経験を積み重ねていくことで、学校や社会へ一歩踏み出す力が徐々に身についていくと考えます。



Q

保護者も参加できるの？

保護者の方に一緒に宿泊をしていただくこともできます。また、「親の会」を開催し、子どもへの関わり方や悩みなどをお話しいただく機会も設けています。「地域やまびこ教室」でも保護者交流会を行いますので、保護者の方のみの参加もお待ちしています。

利用に関しては、ホームページをご覧ください。お気軽にお電話でお問い合わせください（TEL079-676-4724）



スーさんのちょっとセミナー

「家庭での子どもへの働きかけ」連載その 11

製作活動を通して 遊び心を育てよう

兵庫県立但馬やまびこの郷所長 杉村省吾

「やまびこの郷に行けば、なぜ再登校が比較的短期に可能になるのか」という秘訣の第4弾として「自分で選ぶ活動（製作活動）」のプログラムについて、お話ししたいと思います。

やまびこの郷における3日目、午前中の自主選択の製作活動は、製作のへやや野外のクラフト広場を使い、陶芸、木工、竹細工、七宝焼、印刻など様々なメニューの中から、自分で選び、自分で決定する活動で、自由に独創的な活動が展開されていきます。

製作を通して
身につく

3

つのちから

学校では、図工や美術といった芸術的な教科は、入試対応という観点からすると軽視されてしまう傾向にあると感じます。

しかし、遊び心にも触れながら、子どもたちに自由な発想をさせて取り組ませる製作活動は、子どもの創造性や想像性を育む大切な活動となっています。また、各教科においても、独創性や発想力を大切にしながら取り組むと興味関心が高まり、能率を増進させると言われます。そこで、今回は子どもたちに自由でのびのびとした活動をさせることの大切さについて、お話ししたいと思います。



本所利用者の切り絵作品

1 からだ・こころ・あたまの成長

楽しく自由に活動できる「遊び」は、子どもの筋肉を正しく発達させ、からだを鍛えるために大変重要な活動です。

自ら進んで取り組む活動は知らず知らずのうちに体力を養い、健康増進につながります。また体を動かすことで余りあるエネルギーを発散することにも役立ちます。子どもの持つ種々の欲求は、大人の力を借りなければなかなか満たされることはありません。家族や同年齢層の子どもたちとの楽しい交わりの中で、緊張や不安を和らげ、解消されていくのです。また、子どもの活動や動きを分析することで、

その子のパーソナリティや何を求めているのか、何に迷い悩んでいるのかといったことの理解にもつながっていきます。

また、判断力、思考力、記憶力、言語能力、数的能力、想像力や創造性などの多岐にわたる能力は、学校などの教育システムで育っていきませんが、遊び心を通すとこれらの能力が、さらに発揮されることになります。

2 自主性

ユニークでひらめきが豊富な子どもは、自分の意志で活動を選択し、自分で決定するということに長けていることになります。こうした体験の積み重ねは、いつの間にか自己決定の能力に自信を持たせ、積極性と行動力を兼ね備えた人格を形成させることになります。

そして、親への依存から脱して、一人前の大人としての能力を身につけさせることになります。



かご編みに取り組む様子

3 社会性や道徳性

子どもは、異なった年齢集団や上下の人間関係を含む仲間集団の中で活動することで、「お互いに物を分かち合うこと」「他人に物を与えること」「仲間の意見にも従うこと」といった社会的な適応能力を身につけていきます。「他人」を意識することは、他人に対していつも開かれた心を持ち、他人との関わりを作ろうとすることにつながり、自分自身の安定につながっていきます。これは社会性の基本となる最も重要な部分です。

さらには、自分が仲間として他人から認められるためには、「公平で正直で、忠実で、勝負にこだわることなく、自制のできる人間でなければならない」ことを学んでいきます。こういった道徳性は、家庭や学校でも学ぶことはできますが、共に活動をする仲間の中で、それがより厳しく必要とされます。

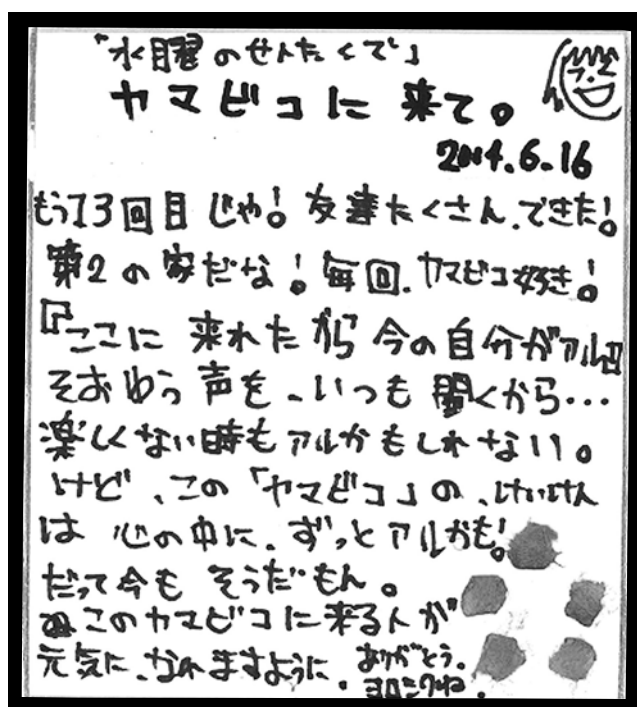
最後に一つ作品を紹介します。中3のK子が小さな色紙に、次のような言葉を書いてくれました。

初めは不安や緊張の中でやまびこの郷を訪れたK子が、一つの作品の中に自分の思いや考えを表現できるようになっていきました。そしてそれは、突然できるようになったのではなく、繰り返し繰り返し粘り強く仲間と共に活動が続けていくことで、彼女の中に少しずつ芽生えていった力なのです。

但馬やまびこの郷の製作活動も、実はこの仲間の集団の中での自己決定や、自由で独創的な発想といった力の育成をめざしているのです。

但馬やまびこの郷の製作活動も、実はこの仲間の集団の中での自己決定や、自由で独創的な発想といった力の育成をめざしているのです。

各ご家庭でも遊び心を大切に、「想像（創造）は癒やし」を意識しながら、お子様と共に製作活動に取り組んでみませんか。



自分の夢に向かって…進路決定までのステップ



不登校の子どもたちは、授業に参加できなかったことによる成績不振や情報不足などから、進路について不安を抱えている場合があります。そんな子どもたちに、どのように寄り添っていけばよいのでしょうか？

ステップ1

進路に向けて気持ちをほぐす

進路の話をするだけで表情がこわばったり、会話に入ってこなかったりする場合があります。本人の不安の表れですので、焦らずに話をしていきましょう。進学の意思や何に興味を持っているかなどを尋ねたり、また保護者自身の体験を語ってやるのもよいかもしれません。

ステップ2

いっしょに調べる

子どもとの何気ない会話の中から、本人の興味(リソース)に関するキーワードを逃さないようにしましょう。今、本人を支えているものが将来の進路につながることもあります。校種(私立、定時制、通信制、体験活動を重視した施設など)や通学方法(通学、寮)など、子どもの状況に合わせた進路先を、一緒に調べることが大切です。子どもの不安な気持ちを丸ごと受けとめることで、安心して自分の進路を考えられるようになります。

ステップ3

足をはこぶ

目標が少しずつ見えてきたら、オープンハイスクールなどの情報をチェックしてみましょう。1年を通して門戸が開かれているところもあります。実際に現地へ行って、自分の目で確かめ、空気を感じるとよいでしょう。進学後の安心につながっていきます。

ステップ4

マイペースで準備する

進路決定が近づくにつれ不安定になることもあります。が、受験の教科をしっかりと把握し、的を絞った学習を進めていきましょう。1週間程度の短い期間で目標を決め、「小さな成功」を繰り返しながら、学習を積み重ねていきましょう。

お互いが支え合って…親の会

去る 8月3日(土)・4日(日)に但馬やまびこの郷にて「親の会」を開催しました。多数の保護者に参加いただき、子育てに関する悩みや考えを惜しみなく語り合いました。

1日目は、当所で子どもたちが体験している製作活動にチャレンジしたり、スクイグルという技法を用いて交流を深めたりしていただきました。2日目には、スクールソーシャルワーカーの松本千代理先生に来ていただき、「不登校の子どもたちの理解とその支援について」というタイトルでお話しいただきました。帰られる時の参加者の皆さんの表情の輝きが、この2日間の充実を物語っていました。



感想

- ・同じ苦しみを持った人と話げできたのは初めてでした。
- ・親の居場所ができた感じがしました。
- ・子どもが一番つらいんだと理解してあげることが大事なんだということがわかりました。

おいでよ！地域やまびこ教室

申込受付中！ふるってご参加ください

■お香づくり

10月30日(水)～31日(木)

国立淡路青少年交流の家

■棒焼きパンづくり

11月6日(水)

県立国見の森公園

■からだを使った仲間づくり

11月8日(金)

場所未定(阪神地区)



兵庫県立但馬やまびこの郷保護者向け機関紙「やまびこ」No.34 ●平成 25 年 9 月
●兵庫県立但馬やまびこの郷 ●〒669-5135 朝来市山東町森字向山 45-101
●TEL(079)676-4724 ●FAX(079)676-4721

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

25教②-021A4